



N: Vの動作の対象
 V(られ)ます: 可能形

基 本

例 文

- ① A: 歌の伴奏をお願いしたいんですが、だれか楽器が弾けますか。
 B: 山本さんはギターが弾けます。
- ② A: 田中さん、今度いっしょにプールへ行きませんか。
 B: いいですね。でも、わたし、泳げないんです。
- ③ まだ、カタカナを習っていませんが、自分の名前はカタカナで書けます。
- ④ A: 明日も手伝いに来られますか。
 B: 明日はちょっと...
- ⑤ A: わたしたちも図書館のコンピュータが使えますか。
 B: はい、もちろん使えます。
- ⑥ 去年の制服が小さくて、着られません。
- ⑦ 知らない漢字が多くて、読めません。



例文 ⑥

A. Vで表される行為をする能力、技術があることを述べるときに使う。(例文①～③)

B. ある状況でVで表される行為をすることが可能であることを述べるときに使う。(例文④～⑦)

先生へ

Vは意志動詞。(p.278 参照)

「Vことができます」(p.112)は、条件などが整って可能だという意味を表すときに使われる。「V(られ)ます」より使用範囲は狭い。

例 田中さんは泳げます。()

田中さんは泳ぐことができます。(×)

田中さんは1000メートルを18分で泳ぐことができます。()

Nが移動の経路や動作の場所の場合は、「NをV(られ)ます」となる。

例 鳥は空を飛べます。

「V(られ)ます」は、ものの性質、機能について述べるときに使うことがあるが、ここでは扱わない。

例 A: この水は飲めますか。

B: 大丈夫です。

【関連項目】

文-26 Vこと/Nができます

活-06 可能形

【「れんしゅう編」の練習】

14-2 泳げますか

14-3 学校クイズ

14-5 ポートボール

14-8 たいへんな一日

15-3 ここはどうですか